

三宮周辺「バスのりば」案内 共通ルール

抜粋版

2024年3月 第1版

神戸市地域公共交通活性化ワーキンググループ

1. はじめに

(1) 趣旨・目的

現在、神戸市においては、三宮クロススクエア整備、新たなバスターミナルの建設にあわせ、最大の中心地「三宮」が、さらに魅力ある空間に大きく変わろうとしています。三宮周辺地区の「再整備基本構想」において、既存道路空間を活用して三宮に存在する6つの駅をつなぎ、人と公共交通優先の空間に再編する「三宮クロススクエア」と、三宮駅周辺に分散している中・長距離バス乗降場を集約した新たなバスターミナルを整備することを位置づけ、これらの課題を解消しながら、交通結節点としての大幅な機能強化を図ることで、交通の要衝として発展してきた国際都市神戸を象徴する新たな玄関口の創出を目指すこととしています。

そのような中、2021年に神戸市を中心に運行する交通事業者で構成する「神戸市地域公共交通活性化ワーキンググループ（以下、ワーキンググループ）」を立ち上げ、神戸市内における様々な公共交通（バス・鉄道）に関わる課題を解決することで、バスの利便性向上と利用者数の増加を図る取り組みを行っています。

市内の路線バスにおいては、「駅改札でのバス案内がない」、「バス案内が統一されていない」、「乗り換え動線がわかりにくい」、「バス停での案内が分かりづらい」などの問題があり、神戸市内最大の交通結節点である三宮駅周辺におけるバス停留所の案内不備については、バス利用者の機会損失につながっています。

私たちはこれらの認識を共有し、課題解決に向け議論、行動することで、乗入れ事業者の利用者増加につなげるだけでなく、公共交通優先により、歩きやすい・楽しみやすい・ワクワクする「三宮」の実現に向けて進んでいきます。

今回定めるバスのりば案内共通ルールは、各事業者が計画的に整備していく指針として活用していきます。今後の整備状況によりバージョンアップすることが前提であり、ワーキンググループ最大の目的である「利用者の利便性向上」、「公共交通利用者の増加」に向けて、改善に努めていくものとします。



(2) 共通ルールにおける基本的な考え方

共通ルールの考え方の原点となる目指す姿は次のとおりであり、これらの実現に向けた分かりやすい案内への改善を目指します。

三宮周辺バスのりば案内の目指す姿

- ① 三宮駅の改札口から、目的地を結ぶバス路線のバス停まで確実に行けること
- ② バス停において、目的地を結ぶバス路線に乗車できること
- ③ 目的地に近いバス停に降車し運賃を支払えること

また、以下の点について配慮しながら、改善を進めます。

- ・ 駅からバス停までの案内が途切れないこと
- ・ 表記の更新頻度を考慮すること
- ・ 交通事業者以外の他者も案内しやすいこと
- ・ 表記（コトバ）が変わらないこと
- ・ アルファベットを使用する際に、数字と勘違いしやすい文字は使用しないこと（D、I、O、Qなど）

(3) 対象とする旅客・言語

共通ルールの対象とする旅客は、三宮でバス利用に不慣れな「神戸を訪れる観光客」、「神戸を初めて訪れる方」、「普段バスを利用しない市民」とし、バス停までのアクセスを知らない方でも、目的地まで安心してたどり着けることを目指します。

外国人来訪者も増加傾向にあるため、多言語化については「英語」表記を基本とします。

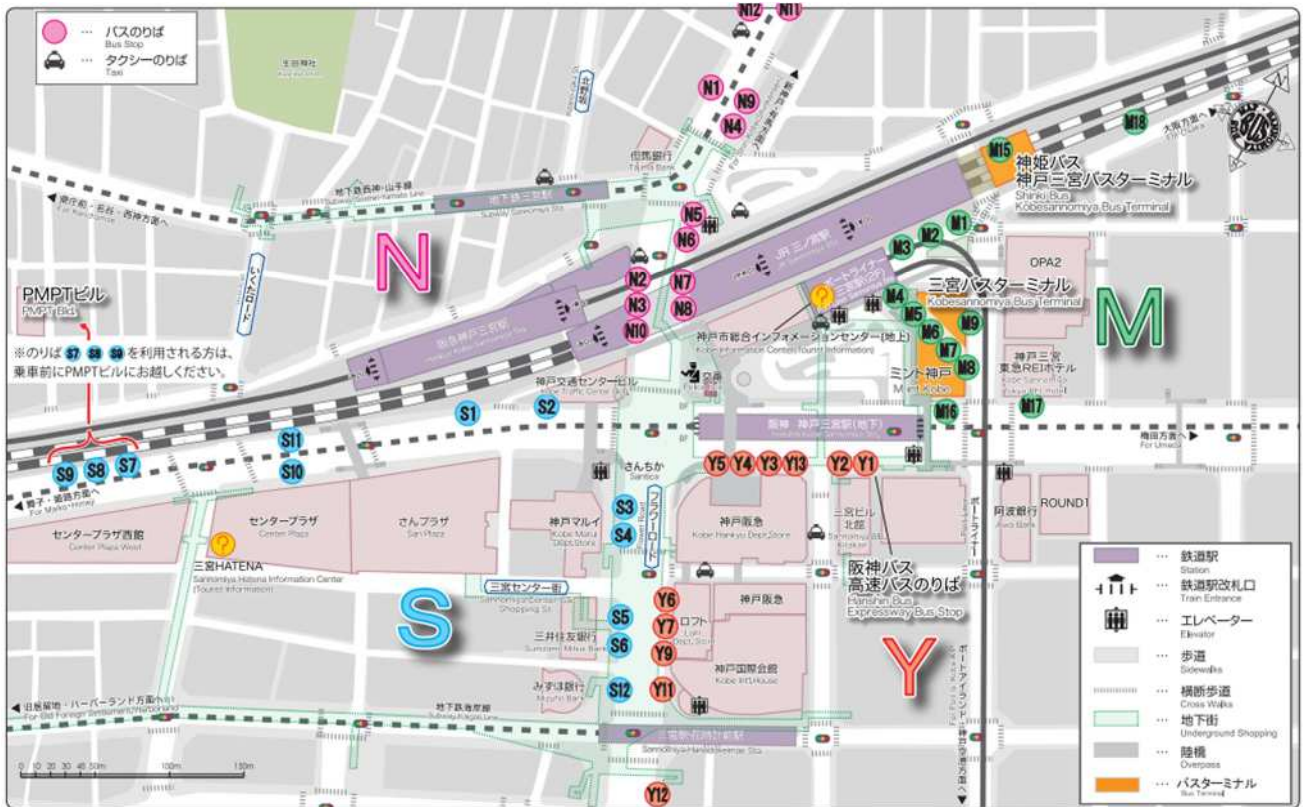
対象とする旅客・言語

- 観光客（市外からの来訪者）、バスに不慣れな市民
- 多言語は「英語」表記を基本

(4) 対象とする範囲（エリア）

共通ルール適用の対象とする範囲・バス停は、現在活用している『三宮駅周辺バスのりば案内MAP』（以下、案内MAPとする）の範囲を基準とします。三宮交差点を中心とした半径概ね300mの範囲にある停留所とするほか、三宮交差点を通過する一般乗合バス路線は全て対象とします。但し、県外を結ぶ高速バスについては、原則として対象外とします。

三宮駅周辺バスのりば案内MAP



(令和5年4月更新版)

2. 三宮における「バスのりば」案内の問題点・あるべき姿

ワーキンググループでの現地視察や議論をふまえて、三宮におけるバスのりば案内の問題点やあるべき姿を整理します。

◇バスのりばの案内方法

三宮ではバス停が点在しており、どの行先のバスがどこから発車しているか、三宮のバスに不慣れな方には分かりにくい状況にあります。バス事業者や神戸市観光案内所ごとに工夫しながらバス案内を行っており、案内情報は統一していません。

また、兵庫県バス協会が主体となって三宮駅周辺バスのりば案内 MAP を制作し、まちなかに掲出するなど対応を図っていますが、現在のバスのりば番号は活用されていない状況です。

そのため、バス事業者が連携し、三宮駅周辺バスのりば案内 MAP・バスのりば番号を一体的に活用することで、どの事業者のどの係員でも分かりやすい同じ案内ができる仕組みが必要です。

あるべき姿

- どの事業者のどの係員でも 同じバス案内ができる
- バス停の場所を 分かりやすく案内できる

◇バスのりばの表記

「バス停の名称が統一されていない」、「バスのりば番号がルール化されていない」など、バスのりば案内に関わる表記が統一されていない状況にあります。

一方、公共交通の案内は、利用者が事前に調べる「タビマエ情報（乗換アプリ、検索サイト、ホームページ、ガイドブック等）」や移動中に目にする「タビナカ情報（改札前での案内 MAP、バス停等）」の表現や単語などが統一していることが大変重要であり、これらが異なると利用者が現場で混乱する大きな要因となります。

そのため、三宮駅周辺バスのりば案内 MAP でのバスのりば番号を分かりやすい番号に再設定し、統一した情報として活用することで分かりやすいバスのりばの案内が必要です。

あるべき姿

- バスのりば番号がルール化され、どの事業者も統一した案内ができる
- どの情報を見ても 同じバスのりば番号が掲載されている

◇バスのりば案内の改善

公共交通機関（鉄道・バス）の案内が少ない、目的地のバス停まで案内が途切れる、バス案内はあるが分かりづらい、バス停での案内が分かりづらいなど、バス案内に関する問題点は多くあります。

そのため、鉄道駅改札前やまちなかでのバス案内の追加設置、観光案内所でのバス案内の改善、現在の案内看板の改善、バス停での表記内容の統一など、分かりやすい案内への継続的な取り組みが必要です。

あるべき姿

- 目的地（観光地）へのバスでの行き方が分かりやすく案内されている
- 現在地から目的地のバス停まで迷わずに行くことができる（案内が途切れない）
- どのバスに乗ったら目的地へ着くか、迷わない

私たちは『問題点』を解決し『あるべき姿』を目指すことで、確実に利用者を獲得することができることを共通認識とします。

3. 三宮周辺「バスのりば」案内の共通ルール

(1) バスのりばの表記に関する共通ルール

◇バスのりばの表記

- バスのりば番号は、〔アルファベット1文字〕と〔数字1桁または2桁〕の組み合わせで表します。
- 文字は楕円で囲みます。(文字が読みやすいように、円ではなく横長楕円とする、アルファベットを小さく表記するなどの対応を推奨します)

◇アルファベット

- 三宮交差点を中心としたバス停の方位別に、東西南北の英語表記の頭文字を使用します。
北側：**N**orth 南側：**S**outh 東側：**E**ast 西側：**W**est
- 三宮バスターミナル、神姫バス神戸三宮バスターミナルは、バスターミナルの英語表記の頭文字を使用します。
バスターミナル：**B**us terminal

◇数字

- 三宮交差点から各方位へ、次の規則に則り、数字が大きくなるように設定します。
 - 連番
 - 西行き1桁・東行き2桁
 - 北行き1桁・南行き2桁
 - 三宮バスターミナル1桁、神姫バス神戸三宮バスターミナル2桁

◇文字・背景の色

- 文字の色は、黒とします。
- 背景の楕円の色は、神戸らしさや分かりやすさを考慮し、以下の通りとします。

【北側：North】	緑	六甲山をイメージする色
【南側：South】	青	神戸港をイメージする色
【東側：East】	オレンジ	朝焼けをイメージする色
【西側：West】	赤	夕焼けをイメージする色
【バスターミナル Bus terminal】	紫	重複せず分かりやすい色

◇フォント

- アルファベットと数字のフォントは、ゴシック体を基本とします。

具体的な表記イメージ〔案〕

- ・「のりば」の英語表記「Track No」もあわせて表記することを推奨します。
- ・掲出場所に依じて、「塗りバージョン」「枠線バージョン」から分かりやすい方を選択します。
- ・〔アルファベット〕と〔数字〕の組み合わせについて、アルファベットを小さく表示します。

塗りバージョン

Track No.
のりば



Track No.
のりば



枠線バージョン

Track No.
のりば



Track No.
のりば













三宮駅周辺バスののりば案内MAP〔改善案〕



※案内 MAP のベース図は神戸市において更新予定であり、のりば案内の更新にあわせて案内 MAP も更新し、改めて全体の配色等を検討する。

推奨色番号

		塗りバージョン		枠線バージョン	
北側：North	緑	CMYK : 45-0-45-0 RGB : 119-217-168		: 85-0-80-0 : 0-176-107	
南側：South	青	CMYK : 30-0-0-0 RGB : 191-228-255		: 95-40-0-0 : 25-113-255	
東側：East	オレンジ	CMYK : 0-25-45-0 RGB : 255-202-128		: 0-50-100-0 : 246-170-0	
西側：West	赤	CMYK : 0-25-15-0 RGB : 255-202-191		: 0-85-95-0 : 255-75-0	
バスターミナル Bus terminal	紫	CMYK : 25-30-0-0 RGB : 201-172-230		: 40-90-0-0 : 153-0-153	

塗りバージョンの推奨色

- 色覚の多様性に配慮し、色で情報を伝えるための実用的なカラーパレットである「カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットガイドブック」のベースカラーです。

枠線バージョンの推奨色

- JIS（日本工業規格）によって規定された安全を確保するために決められた色が「JIS 安全色」であり、道路の交通標識や公共の場の案内板など様々な場で使われています。

推奨色

CMYK：印刷・プリンター出力用に色番号を示します。

RGB：デジタルサイネージ用に色番号を示します。

(2) 神戸市地域公共交通活性化ワーキンググループ構成団体

区分		事業者名
メンバー	バス	神戸市交通局
		神戸フェリーバス株式会社
		山陽バス株式会社
		神姫バス株式会社
		日本交通株式会社
		阪急バス株式会社
		阪神バス株式会社
		みなと観光バス
		六甲山観光株式会社
	鉄道	神戸新交通株式会社
		山陽電鉄株式会社
		西日本旅客鉄道株式会社
		阪急電鉄株式会社
		阪神電気鉄道株式会社
	学識	神戸大学 名誉教授 正司健一
龍谷大学 教授 井上学		
オブザーバー		神戸市 都市局 都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課
		近畿運輸局
		神戸運輸監理部 兵庫陸運部
事務局		神戸市 都市局 交通政策課
		一般社団法人システム科学研究所
		株式会社ティデザイン